

活動のテーマ

<テーマ>

園庭や畑、散歩先などで動植物に触れる中で、その形、感触、におい、性質、変化、成長などについて、子ども達の興味に沿って「自然」をテーマに探求していく。

<テーマの設定理由>

3・4・5歳児クラスで異年齢交流を行いながら、「自然って何だろう?」「自然にはどんなものがあるだろう?」という疑問を問いとして投げかけると「自然の音」に興味を持ったため。

<活動スケジュール(3・4・5歳児クラス)>

- ① 散歩先で自然の音探し
- ② 散歩先で自然物を集める
- ③ 自然物を使って楽器作り
- ④ 自然探し
- ⑤ 探求活動の発表

活動①～散歩先で自然の音探し

<活動のために準備した素材や道具、環境の設定>

○準備したもの

- ・発見した音を記入できるようにボードと鉛筆を用意した。



<探究活動を実践する>

○活動の内容

- ・散歩へ行き、自然の音を探した。
- ・子どもたが発見した音を発表、共有した。
葉を踏む音「さくさく」
葉をちぎる音「ぱりっ」
小枝を折った音「ばきっ」「ぼく」
ねこじゃらしを揺らす音「ちりちり」
石が転がる音「ごろごろ」
鳥の鳴き声「ぴよぴよ」「ピーピー」



<振り返りによって得た気づき>

- ・子どもが気づいたことや発見した音を発表したことで友達がどんな音に気付いたかなど共有する楽しさを味わうことができた。



活動②～散歩先で自然物集め

<活動のために準備した素材や道具、環境の設定>

○準備したもの

- ・発見した音を記入できるようにボードと鉛筆を用意した。
- ・自然物を集めるためのリュックを用意した。

<探究活動を実践する>

○活動の内容

- ・散歩へ行き、どんぐり、落ち葉、実など自然物を集めた。

○子どもたちの様子

- ・リュックを用意したことで集めたものをリュックに入れることを楽しんでた。
- ・「拾ったもので音を作りたい!」「制作したい!」という声が聞かれたため、自然物を使った音作り、制作に発展した。
- ・水の流れる音に耳を傾け、「ちょろちょろ」「ちゃぱちゃぱ」と表現した!「何で音がするところとしないところがあるのかな?」と疑問があり、「段差があるからかな～」と気づきが見られた。
- ・雨上がりだった為、葉についた雨の雫を発見し、葉を揺らすと雫の「ぼたぼた」という音を発見した。

<振り返りによって得た気づき>

- ・年齢ごとに役割を持たせることで意欲的に活動する姿につながったように感じた。



活動③-1～自然物を使って楽器作

<活動のために準備した素材や道具、環境の設定>

○準備したもの

- ・前回拾った実、葉、園庭にある石、砂、水などを入れるペットボトルを用意した。

<探究活動を実践する>

○活動の内容

- ・集めてきた葉や実の音に触れてみた。
- ・楽器作りをしたいとの声が出たため、マラカス作りを行った。

○子どもたちの様子

- ・マラカス作りをしていく中で「実と水を一緒に入れると水の音しかしない」ことに気づき、水を入れる量を調節していた。
- ・「実が踊ってる」と表現した。
- ・「石と砂を入れてみたらどんな音がするかな？」と音の違いを比べていた。砂と水を混ぜると「優しい音がした」と表現していた。
- ・作ったマラカスを発表した。
- ・マラカスの他にもギター、太鼓などの楽器も作りたいと声上がり、枝を集めに散歩に出かけた。

<振り返りによって得た気づき>

- ・音集めから楽器作りへと移行し、思い思いに集めた自然物を入れてマラカス作りを楽しむことができた。
- ・活動を想定して前回集めた自然物の音を聞けるように分別したり、ペットボトルを準備したりしたことで意欲的に活動することにつながったように感じた。



活動③-2～自然物を使って楽器作り

<活動のために準備した素材や道具、環境の設定>

○準備したもの

- ・前回集めた枝、葉、実などの自然物、
空き箱、トイレットペーパーの芯、紙皿などの廃材、
ハサミ、ガムテープ、輪ゴム、マジックを用意した。

<探究活動を実践する>

○活動の内容

- ・集めてきた自然物、廃材などを使って、ギター、オカリナ
マラカス、カスタネット、太鼓などの楽器作りを行った。

○子どもたちの様子

- ・トイレットペーパーの芯に実や葉を入れてマラカスを作り、
葉や実が擦れる音を楽しんだり、太鼓のバチを枝で表現し
空き箱を叩いたりしていた。

<振り返りによって得た気づき>

- ・十分に素材を用意したことで意欲的に楽器作りをすることに
つながった。
- ・自然物はどんな音がするか子どもと共有したことで、自然物
の音に耳を傾けながら音に触れることができた。



活動④～散歩先で自然探し

<活動のために準備した素材や道具、環境の設定>

○準備したもの

- 虫メガネを用意した。

<探究活動を実践する>

○活動の内容

- 散歩へ行き、秋と冬の自然の違いを探した。
- 虫メガネで葉、実、花などの自然物を観察した。

○子どもたちの様子

- 「葉を踏む音がバリバリする」「葉を握りつぶす音がパキパキする」と表現していた。「乾燥しているからじゃない?」「寒いからかな?」と考察していた。

<振り返りによって得た気づき>

- 前回(11月)は秋の自然、今回は冬の自然を感じられるように散歩に出かけたが、霜柱を踏む音、氷が割れる音などの冬のわかりやすい事象を感じることができなかった。
- 虫メガネを1人1個用意できたことで気になった自然物をじっくり観察することができた。



活動⑤～探求活動の発表

<活動のために準備した素材や道具、環境の設定>

○準備したもの

- 画用紙、マジック、活動で作った楽器を用意した。

<探究活動を実践する>

○活動の内容

- 探究活動の発表をするために見つけた音を画用紙に文字や絵を書いて表現した。
- 作った楽器で「山の音楽家」に合わせて演奏した。

○子どもたちの様子

- 「緊張したけど発表できて楽しかった」と楽器で演奏、発表をしたことで達成感を味わえた様子が伺えた。

<振り返りによって得た気づき>

- 探究活動の様子や遊びの展開の様子、子どもや保育士が気づいたこと、感じたことなどを共有することで日々の保育に活かすヒントを得ることにつながった。

